

あなたの行動は誰かの手助け

障害者の悩み・特徴

様々な障害の種類によって、様々な悩みを抱えている人たちがたくさんいる。例えば、視覚障害を持っている人は、私たちが感じているよりも危険な街を、白杖の感覚を頼りにしながら、歩いている。また、自閉症スペクトラムと ADHD の障害を持っている人では、忘れ物や遅刻が多く、それだけではなく、集中力が続かないというような特徴や人付き合いが苦手という特徴を持っていることもある。聴覚障害の人は、周りからの呼びかけ、自転車のベルなどが聞き取れない。これらのことは、知らないと努力だけで片付けられる行動にも見えてしまうのも今の課題でもあると考える。

あなたの行動は？

このような悩みを抱えている人が多くいる世の中で、ともに暮らしている私たちの行動はその人たちが暮らしやすいように配慮できているだろうか。自転車やバイクを点字ブロックの上に堂々と置いて、白杖を使っている、車いすを使っている人たちの妨げにはなっていないだろうか。忘れものや遅刻が多い人に対して、表上の行動だけで叱ったり、注意したりしていないだろうか。歩道を歩いている人に対して、後ろから自転車でベルを鳴らしたり、後ろから声だけで呼びかけたりしていないだろうか。そのほかにも思い返してみると、心当たりがある行動はいろいろあるだろう。また、これらの行動は、障害がない人たちに対しても妨げになっているかもしれない。



関心を行動に

上記のように、私たちが何気にしている行動が誰かの妨げになっていることは多くある。では、どうすればみんながよりよく暮らしやすい世の中ができていくのだろうか。それは、そのような道具や自分自身の行動について関心を持つことであると考えられる。なぜ、点字ブロックが置いてあるのか。なぜ、遅刻や忘れ物が多いのだろうか。単なる不注意が原因なのか(努力だけの問題なのか)、そうではないのか。自分がとっている行動は、どのようなことを起こしているのか。これらのことに関心を持つことで、気を付けることは何かを考えることができるだけでなく、よりよくしていくためには自分たちに何かできることがないかを考えることができるようになるのではないだろうか。「自分の行動の改善は、多くの人の役に立つ。」このことを心に受け止め、行動していくべきであろう。



参考資料

- ① [\(1\) 障害による怖さはそれぞれに、重複障害の K さんに街歩きの怖さを聴きました - YouTube](#)
- ② <https://t.pimg.jp/056/894/736/5/56894736.jpg>
- ③ [視覚障害者を誘導する人のイラスト（女性） | かわいいフリー素材集 いらすとや \(irasutoya.com\)](#)